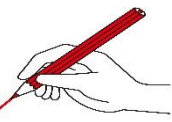


Move Mountains

5年生通信

5月13日21号



○何が役に立つかは分からない

書写の授業がありました。週予定に“Calligraphy”と書いた時、スティーブジョブズの話が浮かびました。

ジョブズはオレゴン州ポートランドのリード大学に入学したものの半年で退学。自分の興味のある授業だけに潜り込んでいたそうです。その時に潜り込んでいた授業のひとつがカリグラフィー。

“ひげ飾り文字を学び、文字を組み合わせた場合のスペースのあけ方も勉強しました。何がカリグラフを美しく見せる秘訣なのか会得しました。科学ではとらえきれない伝統的で芸術的な文字の世界のとりこになったのです”

20歳の時アップルコンピュータを設立したジョブズ。そして有名なマッキントッシュが誕生しました。そのマッキントッシュのデザイン中でジョブズはある事を思い出します。それは大学でのカリグラフィの授業でした。

“**10年後**、最初のマッキントッシュを設計していたとき、カリグラフの知識が急によみがえってきたのです。そして、その知識をすべて、マックに注ぎ込みました。美しいフォントを持つ最初のコンピューターの誕生です。もし大学であの講義がなかったら、マックには多様なフォントや字間調整機能も入っていなかったでしょう”

何となく興味をもって、受けていた授業が10年後まさか役に立つ日が来るとは誰も想像することはできません。

役に立つ／立たないの次元ではなく、とりあえず手広く色々やっておくことの重要性を示すエピソードですね。

切り捨てることは簡単です。が、同時にチャンスも切り捨てているかもしれません。まずは色々やってみませんか。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

